

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C	令和3年3月8日	
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生時における対策の充実・強化						
地域重点政策	地震防災対策の充実強化					松本地域振興局	
実施機関	松本空港管理事務所			担当課	所属	松本空港管理事務所	
事業名	松本空港自然災害・感染症対応能力向上事業				電話	0263-58-2517	
					E-mail	matsukuuko@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	誰もが安心して利用できる空港の体制確保					
	現状と課題	新型コロナウイルスが流行した初期段階で、水際対策として空港利用者に感染症り患者やその疑いがある者がいた場合、他の空港利用者や空港内事業者との分離をするため、一時的に既存の休憩室を準備したが、現在準備できる施設では空調やベット等の対応ができていない。 そこで、今後も感染症のみならず自然災害等が発生した場合の隔離施設等を準備し、感染症のまん延防止及び滞留者対策を万全にする必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・空港の人員体制にかかわらず、常に外国人空港利用者への避難誘導等案内が可能となるよう非常用多言語翻訳スピーカーを配備する。 ・空港において感染症患者が発生した際に、他の空港利用者や従業員等との接触をできるだけ避けるための感染症患者用及び自然災害等発生時における滞留者用の臨時トイレを配備する。 (・空港において感染症患者が発生した際の、感染症患者用の緊急用テント、当該テント内に緊急用ベット、使い捨て簡易寝袋、専用トイレ(ユニバーサル型)及び感染性廃棄物用コンテナを配備する。 また、災害等で空港に滞留者が発生した際の寒さ等の対策のため、サバイバルシートを配備する。) 					
	事業期間	令和2年4月			～	令和3年3月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	非常用多言語スピーカー配備	非常用多言語スピーカーの購入	158,400				
	感染症患者用・滞留者用臨時トイレ配備	臨時トイレの購入	102,080				
	感染者分離施設設備	緊急用テント、ベッド、使い捨て寝袋、ユニバーサルトイレ、汚物処理袋、感染性廃棄物用コンテナ購入	682,000				
	滞留者用備品整備	サバイバルシート購入	154,000				
	合計		1,096,480				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	外国人対応非常用多言語スピーカー配備数		1	1	● 達成		
	感染症患者等専用臨時トイレの配備数(男女各1)		2	2	○ 一部達成		
	感染者分離施設設備数(テント、ベッド、使い捨て寝袋、ユニバーサルトイレ、汚物処理袋、感染性廃棄物用コンテナ)		2、2、20、1、200、10	2、2、20、2、200、10	○ 未達成		
	滞留者用備品整備数(サバイバルシート)		400	400			
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人空港利用者への避難誘導等案内が可能となるよう非常用多言語翻訳スピーカーを配備し、所内職員対象に当該スピーカーの取扱い訓練を実施し、非常時に備える体制を整備した。 ・空港において感染症患者が発生した際に、他の空港利用者や従業員等との接触をできるだけ避けるための感染症患者用の分離施設等(緊急用テント、当該テント内に緊急用ベット、使い捨て簡易寝袋、専用トイレ(通常型2、ユニバーサル型2)及び感染性廃棄物用コンテナ)を配備し、所内職員対象に感染者分離施設等の組立訓練を実施し、非常時に対応できる体制となった。 ・空港において、感染者等が発生した際に備え、松本保健福祉事務所と共同で空港内事業者を対象に、感染症に係る研修及び防護服の着脱訓練を実施し、空港全体としての感染症対応能力の向上を図ることができた。 						
今後の方向性	感染者発生等の非常時に備え、空港関係者全体の研修・訓練(配備品を活用したものを含む。)を今後も継続的に実施する。						